

# エコアクション21 環境経営レポート

令和5年12月～令和6年11月  
(取組期間)

株式会社カンドリ工業

令和7年3月6日

# 目次

表紙

目次

1.組織の概要

- 1)事業所所在地及び代表者
- 2)管理者
- 3)事業の内容
- 4)事業の規模
- 5)認証登録対象範囲

2.環境経営方針

3.環境経営目標

- 1)中期3年間の目標

4.環境経営活動計画

- 1)環境経営活動計画及び環境経営活動計画の取組結果とその評価
- 2)次年度の取組内容

5.環境経営目標の実績・評価

・原単位

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

7.代表者による全体の評価と見直しの結果

# 1.組織の概要

## 1)事業所所在地及び代表者

事業所名 :株式会社カンドリ工業  
所在地 :愛知県額田郡幸田町大字深溝字松井8番地1  
代表者 :代表取締役 神取 勇

## 2)管理者

環境管理責任者(正) :生産技術課 岩瀬 智典  
環境管理責任者(副) :製造部長 大須賀 勝則  
連絡先 :環境事務局 生産技術課 岩瀬 智典  
TEL 0564-64-3160 /FAX 0564-64-3165  
E-mail seigi@kandori.jp

## 3)事業内容

異種金属材料の溶融接合及び熱処理加工

## 4)事業の規模(令和6年度)

主要製品生産量	個数(百万個)	46.24
売り上げ高	百万	2986
従業員数	人	96
床面積	m <sup>2</sup>	5795.54

## 所在地

本社	逆川工場	上六栗工場/B&H技術センター
〒444-0124	〒444-0125	〒444-0123
愛知県額田郡幸田町	愛知県額田郡幸田町	愛知県額田郡幸田町
大字深溝字松井8番地1	大字逆川字川原32番地1	大字上六栗字金ヶ崎57番地1
TEL0564-63-0555	TEL0564-62-7995	TEL0564-62-5783
FAX0564-63-0590	FAX0564-62-7987	FAX0564-62-5861

## 桐山工場

〒444-0126  
愛知県額田郡幸田町  
大字桐山字藪下1番地2  
TEL0564-64-3160  
FAX0564-64-3165



## 5)認証登録対象範囲

### 組織

本社  
逆川工場  
上六栗工場/B&H技術センター  
桐山工場



### 活動

異種金属材料の溶融接合  
及び熱処理加工

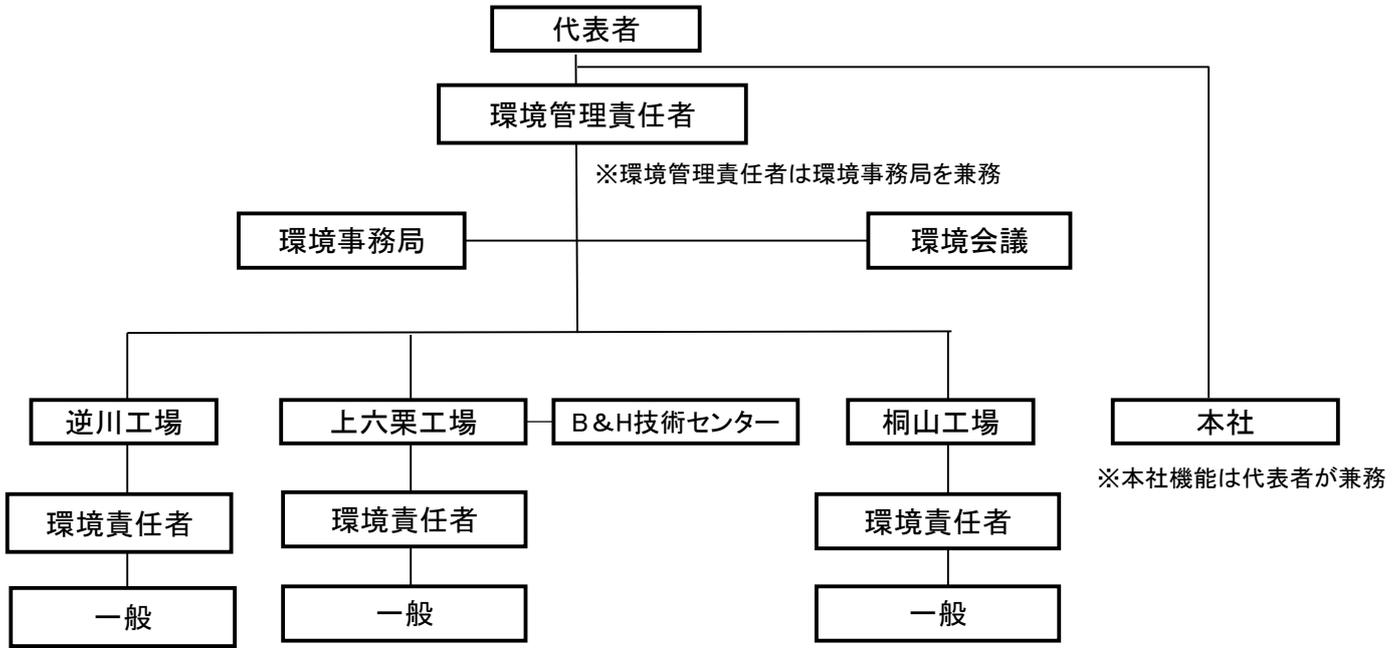
承認	確認	作成

改定日 平成30年 6月 28日

# EA21実施体制図

実施及び運用

環境管理実施体制図



## (2) 組織の主な役割

名称区分	役割(概要)	その他
代表者 (社長)	1.環境経営方針の作成 2.環境経営活動の統括 3.EA21(全箇所)の実施及び管理に必要な経営資源の提供 4.環境管理責任者の任命 5.全体の評価と見直し 6.環境経営レポートの承認と発行	
環境管理責任者 正 岩瀬 智典 副 大須賀 勝則	1.環境経営システムの構築・運用・維持 2.代表者へのEA21(全箇所)の実績報告 3.ラインへのEA21(全箇所)の具体化計画と目的・目標の立案と推進 4.ラインへのEA21(全箇所)の展開・管理と環境活動の統括 5.社会の動向を把握し工場、ラインへの周知徹底 6.外部からの苦情等の受付と対応及び記録 7.環境関連法規の確認	環境会議等開催時は議長を務める
環境事務局 岩瀬 智典	1.環境会議等の議長の補佐 2.EA21文書、記録類の改定の最新版の管理 3.外部認証機関の審査、サーベランス及び更新審査の対応の補佐 4.環境経営レポート作成	
環境会議	1.環境会議は代表者及び環境管理責任者が必要と判断したときに招集する	
環境責任者 (ライン責任者)	1.担当ラインへのEA21(全箇所)の展開責任 2.担当ラインへの環境事務局からの改定の最新版の管理 3.環境管理者の補佐 4.職場内へのEA21(全箇所)推進と教育訓練の実施	
一般	1.組織の活動に自主的・積極的に参画する	

# 環境経営方針

### 基本理念

当社はロリ付け・熱処理などの生産工程で、電気・ガス等を大量に消費しており、それから発生するCO2排出量や各種環境負荷の低減に努めます。また事業活動を通じ、地域社会・経済の発展に貢献することはもとより、常に新たな挑戦を続け、環境にやさしい企業としてさらなる事業の発展に努めます。

### 行動指針

- 1、当社に、適応される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 2、不良率の低減、生産工程に於いてCO2排出量の削減、下記の資源使用量・廃棄量を削減します。
  - ① 電力の使用量を削減します。
  - ② 化石燃料の使用量を削減します。
  - ③ 廃棄物排出量を削減します。
  - ④ 化学物質の使用量を削減します。
  - ⑤ 不活性ガス等の使用量を削減します。
  - ⑥ 水の使用量を削減します。
  - ⑦ グリーン購入の推進を図ります。
  - ⑧ 不良の低減を図ります。
- 3、地域社会との共生に努めます
- 4、本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

制定日 平成30年2月1日  
株式会社カンドリ工業

代表取締役 神取 勇

# 環境経営目標

文書番号

5-1

## 中期3年間の環境経営目標

作成日 令和5年11月26日

環境経営方針の項目	取り組み項目	目標種別	単位	年間の削減目標又は取組み頻度							
				(前年12月～11月)							
				令和5年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度		
				基準年度	削減%	削減後値	削減%	削減後値	削減%	削減後値	
二酸化炭素の排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総量	kg-CO2	2,393,045	1.0%	2,365,607	1.5%	2,352,550	2.0%	2,339,493	
		原単位	kg-CO2/一万個	469		464		461		459	
	電力の使用量削減	総量	kWh	4,941,321	1%	4,891,908	1.5%	4,867,201	2%	4,842,495	
		原単位	kWh/一万個	969		960		955		950	
	灯油の使用量削減	総量	L	8,842	10%	7,958	12%	7,781	14%	7,604	
		原単位	L/一万個	1.73		1.56		1.53		1.49	
	軽油・ガソリンの使用量削減	総量	L	6,218	2%	6,094	3%	6,031	4%	5,969	
		原単位	L/一万個	1.22		1.20		1.18		1.17	
	液化石油ガス(LPG)の使用量削減	総量	kg	45,438	2%	44,529	3%	44,075	4%	43,620	
		原単位	kg/一万個	8.91		8.73		8.65		8.56	
	アセチレンガスの使用量削減	総量	kg	255	2%	250	3%	247	4%	245	
		原単位	kg/一万個	0.05		0.05		0.05		0.05	
化学物質の使用量削減	NSクリーンの使用量削減	総量	kg	13,120	2%	12,858	3%	12,726	4%	12,595	
		原単位	kg/一万個	2.57		2.52		2.50		2.47	
不活性ガス等の使用量削減	水素ガスの使用量削減	総量	Nm3	278,162	1%	275,380	1.5%	273,990	2%	272,599	
		原単位	Nm3/一万個	54.56		54.0		53.7		53.5	
	液化窒素ガスの使用量削減	総量	Nm3	115,494	1%	114,339	1.5%	113,762	2%	113,184	
		原単位	Nm3/一万個	22.65		22.43		22.31		22.20	
	液化炭酸ガスの使用量削減	総量	kg	60	2%	59	3%	58	4%	58	
		原単位	kg/一万個	0.01		0.01		0.01		0.01	
	酸素ガスの使用量削減	総量	Nm3	525	2%	515	3%	509	4%	504	
		原単位	Nm3/一万個	0.10		0.10		0.10		0.10	
排水量の削減	上水の使用量削減	総量	m <sup>3</sup>	10,382	2%	10,174	3%	10,071	4%	9,967	
		原単位	m <sup>3</sup> /一万個	2.04		2.00		1.98		1.96	
グリーン購入の推進	環境負荷低減配慮品の購入					—	都度確認	都度確認			
地域社会との共生	工場周辺の清掃実施	2回/年		4月/10月		4月/10月		4月/10月		4月/10月	
	地域行事への参加	2回/年		7月/10月		7月/10月		7月/10月		7月/10月	
不良率の低減	ISO9001に準ずる	不良率	%	0.25		0.20		0.20		0.20	

\* 令和5年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数(調整後): 中部電力ミライズ0.421kg-CO2/kWh

\* 従来は廃油(廃棄物)に区分していた商品名: NSクリーンをこの時点より再生処理を行い再利用が可能になり、併せて廃棄物としての目標値設定は中止した。

4.環境経営活動計画

令和6年度 環境経営活動計画及び環境経営計画の取組結果とその評価

承認 確認 作成 (Seal area)

Main table with columns: 取組方針, 取組目標, 実施事項, 具体的内容, 点検方法, 担当, 計画実施, 進捗状況 (12-11), 環境活動計画の実施状況評価

令和7年度

次年度の取組内容



各ライン担当者 [ ] 生技 [ ] 生技・ライン合同 [ ] 担当 [氏名]

取組方針	取組目標	実施事項	具体的内容	点検方法	担当部署(担当者)	計画実施	進捗状況(評価○:予定通り △:一部実施 ×:未実施) 下段評価																
							12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11					
二酸化炭素排出量の削減	電力の使用量削減(基準年度比6%削減)	1) 冷暖房使用温度の使用状況	設定温のルール厳守をライン責任者がチェック	設定温度	各ライン担当者	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
		2) 冷房の効率化	担当者によるフィルタ清掃	点検表	1	計画実施						実施			実施						実施		
		3) クーリングタワー水温管理によるムダ削減	定期的に水槽の汚れ清掃の実施	設定温	1	計画実施							実施			実施					実施		
		4) 太陽光のロス削減	太陽光発電の発電量を確認し正常に稼働しているか確認(ロスを減らす)	発電量	岩瀬	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
		6) 冬期間寒さ対策	厚着防寒着着用の推進(安全性は確保)	—	各ライン担当者	計画実施	実施	実施	実施	実施												実施	
		7) エア洩れによるロス対策	老朽化部分の点検・交換等	—	生技・ライン合同	計画実施	実施																実施
		8) デマンドシステム管理	最大電力抑制による節電	都度	各ライン担当者	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		1) 乾燥炉使用回数の削減	計画生産による自然乾燥・水切りと抱き合わせによる低減	1	熊崎	計画実施	実施	実施	実施	見直し	実施	実施	実施	実施	実施	見直し	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	ガソリン・軽油の使用量削減(基準年度比6%削減)	1) アイドリングストップによる低減	アイドリングストップ全員対象	目視	各ライン担当者	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
		2) 製品配達と荷造り効率化	・エコ運転の取組推進	—	1	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
・フォークリフトのムダな走行低減荷役			—	1	計画実施	検証	検証	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
・各工場間走行頻度の低減			—	1	計画実施	検証	検証	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
LPGの使用量削減(基準年度比6%削減)	1) 生産計画管理による削減	生産計画の確立により流動ロスをなくす	都度	熊崎	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
不活性ガス使用量の削減	水素ガスの使用量削減(基準年度比6%削減)	1) 生産計画管理による削減	精度の高い計画とライン連携によるロスを無くす	都度	各ライン担当者	計画実施	実施	実施	見直し(確認)	実施	実施	実施	確認	実施	実施	実施	実施	確認	実施	実施			
		2) 配管モレ点検	一次側を閉め元バルブを開き圧力低下なこと	メーター	1	計画実施		実施					実施					実施					
		3) 条件見直しと標準化	トライによる使用量削減	条件表	1	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
	アルゴンガス使用量の削減(基準年度比6%削減)	1) 流量調整による削減	新製品時ベテランによる指導と標準化	都度	熊崎・稲吉・泰	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
		2) ガス洩れ点検	一次側を閉め元バルブを開き低下なこと	メーター	熊崎・稲吉・泰	計画実施		実施					実施							実施			
	液化窒素ガス使用量の削減(基準年度比6%削減)	1) 条件見直しと標準化	必要最小での効率化を計る	1	各ライン担当者	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
		2) 配管モレ点検	定期的に配管モレ点検(水素2と同じ)	メーター	生技・ライン合同	計画実施		実施					実施							実施			
	液化炭酸ガス使用量の削減(基準年度比6%削減)	1) 条件見直しと標準化	トライによる使用量削減	条件表	各ライン担当者	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
		2) 配管モレ点検	一次側を閉め元バルブを開き低下なこと	メーター	1	計画実施			実施					実施							実施		
	酸素ガス使用量の削減(基準年度比6%削減)	1) 配管モレ点検	一次側を閉め元バルブを開き低下なこと	メーター	1	計画実施			実施					実施							実施		
1) 洗浄時間短縮による削減		投入量の見直しによる効率化	サンプル	水島・尾崎・熊崎・本田	計画実施		指導	標準化					指導	標準化									
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の排出量削減 ※一般廃棄物については把握困難により数値は設定しない	1) 私物ゴミの持ち帰り	ルール厳守チェックと指導	点検表	各ライン担当者	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				
		2) 支給品のダンボール・容器類の返却	再利用以外は打ち上げと返却	都度	1	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				
		3) 紙類の再利用の推進	不適と思われるケースは注意と指導	現状確認	1	計画実施	調査	調査	調査	スリ合わせ	実施	スリ合わせ		スリ合わせ	実施	実施	実施	実施					
		4) 電子化の推進による紙使用削減	不適切使用発生時注意を促す	1	1	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				
産業廃棄物の排出量削減(基準年度比6%削減)	1) 不良率の低減	データに基づき不良率の高いものもより対策し、減少させる	データ表	1	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				
	2) 現状把握	分別表と照合、不適は朝礼等で注意を促す	要領書	1	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施					
上水使用量の削減(基準年度比6%削減)	1) 水道使用設備の使用状況チェック	確認注意と習慣付を行う	—	各ライン担当者	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				
	グリーン購入	1) グリーン製品の購入推進	指名担当者選任担当者承認後購入する	都度	1	計画実施	指名	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				
の 社 推 活 会 進 動 員	地域住民との共存	1) 工場周辺の道路駐車場の清掃	駐車場と道路の空き缶・ゴミ拾い	2回/年	全員	計画実施													全員				
		2) 地域住民行事に参加	夏河川堤防と地域の道草刈り参加	1	生技	計画実施									河川			道路					
その他	1) 環境意識の高揚	工場内外の始業前自主清掃活動	点検表	全員	計画実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				
毎月の評価・コメント				環境管理責任者確認印																			
12月	6月					記載日: R7年2月末日		記載日: R7年5月末日		記載日: R7年8月末日		記載日: R7年11月末日											
1月	7月																						
2月	8月																						
3月	9月																						
4月	10月																						
5月	11月																						
				環境活動計画の実施状況評価		記載日: R7年5月末日		記載日: R7年11月末日															
				代表者																			

5.環境経営目標の実績・評価

R6年度二酸化炭素排出総量  
2343489.10kg-CO<sub>2</sub>

文書番号 12-1

作成日 令和7年 2月8日

環境経営目標の実績・評価(年間原単位)					承認	確認	作成
令和5年12月1日～令和6年11月30日					神取	赤須賀	岩瀬
○:達成率100% △:未達だが基準年より削減 ×:未達							
取組項目	基準年	令和6年度目標	結果%	評価	分析内容		
	令和5年度実績	実績				令和5年度総量	総量
生産量(一万個)	5,098	5,098	-9.3%	—	増産する製品の話もあるが増産には至っていない。		
	5,098	4,624					
二酸化炭素の排出量削減	469	464	9.2%	×	生産減少により熱処理設備の停止、立ち上げなどで大きく電力を消費する。		
	469	507					
	2,393,045	2,343,489					
電力の使用量削減(kWh)	969	960	9.0%	×	生産減して総量は減ったが24時間稼働の水素炉などを停止させる事が多くなり設備の立ち上げなどで大きく電力を消費するので原単位が上がった		
	969	1,046					
	4,941,321	4,836,433					
灯油の使用量削減(L)	1.73	1.56	24.2%	×	乾燥機が2台あり消費は多い、昨年とほぼ同じ程度の使用量。		
	1.73	1.94					
	8,842	8,960					
軽油・ガソリンの使用量削減(L)	1.22	1.20	19.8%	×	工場間移動を極力減らし燃料消費を抑えるように気を付ける。		
	1.22	1.44					
	6,218	6,650					
液化石油ガス(LPG)の使用量削減	8.91	8.73	45.6%	×	生産量は減少しているがLPG使用量は増加。洗浄機が主なので削減するのが難しい。		
	8.91	12.71					
	45,438	58,780					
アセチレンガスの使用量削減(kg)	0.05	0.05	-17.1%	○	主な使用は製品の仮付けのTIG溶接。		
	0.05	0.04					
	255.00	191.70					
NSクリーン(L)(炭化水素)	2.57	2.52	-0.8%	△	洗浄液の劣化による交換、洗浄工程などを今後今よりもさらに見直し効率よく洗浄を行う。		
	2.57	2.50					
	13,120	11,558					
水素ガスの使用量削減(m <sup>3</sup> )	54.56	54.00	3.4%	×	減産しているのが昨年より1割減程度、水素炉の始動/停止回数を増やすと電気使用量上がるので水素炉の停止を極力減らしたい。		
	54.56	55.85					
	278,162	258,234					
液化窒素ガスの使用量削減(m <sup>3</sup> )	22.65	22.43	-2.6%	○	桐山工場の真空炉の稼働と上六栗工場の新規に導入されたノック炉が主な用途。昨年と同等程度。		
	22.65	21.85					
	115,494	101,014					
液体炭酸ガスの使用量削減(kg)	0.01	0.01	159.5%	×	CO2溶接は社内設備製作時に使用する程度なので大きな変動はない。30kg容器2本⇒4本		
	0.01	0.03					
	60	120					
酸素ガスの使用量削減(m <sup>3</sup> )	0.10	0.10	31.7%	×	アセチレンバーナーを使用する作業にて使用、若干増加した。		
	0.10	0.13					
	525	609					
上水の使用量削減(m <sup>3</sup> )	2.04	2.00	2.2%	×	昨年と同程度の使用量。		
	2.04	2.04					
	10,382	9,454					
グリーン購入		都度確認購入			当社購入物品は積極的にエコ製品を購入している。		
地域社会との共生		2回/年			地域住民とのコミュニケーションの場とし定期的に行っている		
不良率の低減(%)	0.25	0.20	60.0%	×	昨年より増加、定期的に不良低減会議を行っている。		
	0.25	0.32					

総評 1) 今後も継続してエネルギー使用量を削減して行ける様、エコ活動を行います。

2) 基準年(令和5年...5098万個)からの生産量は令和6年:4624万個と推移している。

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

令和5年12月～令和6年11月

作成日 令和7年 2月 8日

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果						承認	確認	作成
【環境関連法規 遵守確認日】 令和6年2月28日(事務局が確認) ○=良 △=一部実施 ×=未実施								
法規等の名称	適用対象	管理項目	届出			評価コメント	備考	
			要	済	1年			
騒音規制法 振動規制法 (愛知県条例)	コンプレッサー	騒音規制 振動規制 3.75KW以上 ※上記以上の場合届出が必要	○	○	○	H22年5月届出済 H23年10月重要設備に特定	逆川工場 4台 上六栗工場 3台 桐山工場 1台	
消防法	炭火水素系溶剤 (NSクリーン100)	1000ℓ以上 ※上記以上の場合届出が必要	○	○	○	炭化水素系溶剤(NSクリーン100)は再生利用が始まっており従前行ってた廃棄物には区分しない	届出台帳参照	
	アセチレン	40kg以上 ※上記以上の場合届出が必要	○	○	○			
	LPガス	300kg以上 ※上記以上の場合届出が必要	○	○	○			
	少量灯油	200ℓ以上 ※上記以上の場合届出が必要	○	○	○			
	消火器	定期点検	○	○	○			
	自動火災報知器設備		○	○	○			
廃棄物処理法	産業廃棄物	①産業廃棄物処分は委託契約書で行う ②マニフェストは産業廃棄物管理票の交付等状況報告書にて報告 ③産業廃棄物処理業者の処理能力を確認	○	○	○	産業廃棄物管理票の交付等状況報告書にて報告を行いました。産業廃棄物処理業者の処理能力の確認を現地にて実施。		
自動車リサイクル法	リサイクル券				○	指定業者にリサイクル法券を用いた処理を依頼		
家電リサイクル法	リサイクル券	テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機・乾燥機等	—	—	—	指定業者にリサイクル券を用いた処理を依頼		
アイドリングストップ 条例	県条例		—	—	○	H23年アイドリングストップ標示の見直し・新作と設置		
フロン排出抑制法	第1種特定製品等	簡易点検	—	—	○	簡易点検は3月、6月、9月12月に実施し記録する。		
【総合評価】						問合せ先	西三河事務所	0564-23-1211
評価全体的○							幸田町役場環境課	0564-63-5146
R6年度も変化なし							幸田町消防本部	0564-63-0119
							鈴木半商事	052-202-0361
※訴訟等の違反はなし							三ヶ根モーターズ	0564-62-0221
訴訟等は創立以来問題はありませんでした							廃棄物関係(山兼)	0533-68-3071
※確認者:環境管理責任者実施:1回/年							消火器(西尾点検組合)	0563-54-4440

7.代表者による全体の評価と見直しの結果

代表者による全体の評価と見直しの結果

保存期間:3年

令和5年12月～令和6年11月

環境管理責任者による見直しに必要なコメント		作成者	環境管理責任者
		作成日	令和7年1月10日
1	環境経営目標とその達成の状況 (未達成の場合は原因と次年度目標対応について)	本年度は生産数が落ち込み基準年(R5年)と比較して91%となり電気代、水素ガスの削減が一層課題となる。作業員一人一人の省エネ意識が高まるような活動を継続していく必要がある。	
2	環境経営活動計画の実施状況 (取組に問題はなかったか、次年度について)	従来より環境活動項目の日常業務化を図り取り組んできたがその効果が定着しており全社ベースでの取組み状況に問題はない。	
3	環境関連法規の見直し遵守状況	特に問題はありませんでした。	
4	審査結果情報	審査結果情報は掲示板に掲示し、全従業員に開示しエコ活動の意識を高める事ができました。	
5	外部からの苦情等の受付結果	令和5年12月～R6年11月の間 特にありませんでした。	
6	問題点の是正予防報告書	問題点については目標値の妥当性及び改善方向性を再度見直しを進めます。	

代表者による変更の必要性の判断・指示			評価者	代表者
○=適切 ×=不適切			記載日	令和7年1月17日
評価結果	1	環境経営システムが有効に機能しているか	○	環境目標全般について現状分析、目標設定、目標からのズレ、目標の達成、未達状況などが社員全員参加の環境マネジメントシステムとして定着しており環境経営システムとして有効に機能している。
	2	環境への取組は適切に実施されているか	○	社員全員参加のマネジメントシステムが定着しその運用も適切である。
変更判断・指示	1	環境経営方針の変更		変更必要なし。
	2	環境経営目標の変更		過去の実績を踏まえて当年はR5年度の実績を基準とし出来る限り妥当性と実感のある活動を目指します。
	3	活動計画の変更		2017年度ガイドラインに沿った活動の推進。当面は全体的レベルと活動意識の持続。
	4	実施体制の変更		変更必要なし。
	5	環境経営システムの変更		変更必要なし。